

会 議 記 録 (要 旨)

会 議 名	杉並区子どもの居場所づくり基本方針策定検討会		
年 度	令和 5 年度	開 催 回	第 2 回
日 時	令和 6 年 1 月 26 日 (金) 午後 3 時 00 分～4 時 40 分		
場 所	庁議室		
出 席 者	委員名	子ども家庭部長、子ども政策担当課長、児童青少年課長、企画課長、施設マネジメント担当課長、地域施設担当課長、文化・交流課長、スポーツ振興課長、障害者施策課長、生活自立支援担当課長、地域子育て支援課長、子ども家庭支援課長、保育課長、保育施設担当課長、みどり公園課長、学校支援課長、教育相談担当課長、中央図書館長、区民課調整担当係長	
	事務局	子ども家庭部管理課 (子ども政策担当係長、子ども政策担当主査) 児童青少年課 (管理係長、計画調整担当係長、学童クラブ整備担当係長)	
配 付 資 料	資料 1 関係課調査及び居場所実施者アンケート実施状況 資料 1 別紙 関係課調査により抽出した居場所の概要 資料 2 子どもアンケート及び子どもヒアリングの取組状況 資料 2 別紙 1 子どもアンケート (乳幼児用) 資料 2 別紙 2 子どもアンケート (小学生用) 資料 2 別紙 3 子どもアンケート (中・高校生世代用) 資料 3 「(仮称) 杉並区子どもの居場所づくり基本方針」骨格 (案) (参考資料) ○ こどもの居場所づくりに関する指針【国・令和 5 年 12 月 22 日閣議決定】 ○ 幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なビジョン (はじめの 100 か月の育ちビジョン)【国・令和 5 年 12 月 22 日閣議決定】		
会 議 次 第	1 開会 2 議題 ○ 関係課調査及び居場所実施者アンケートについて ○ 子どもアンケート及び子どもヒアリングについて ○ 居場所づくりの視点と基本方針の骨格について ○ 今後のスケジュールについて 3 その他		
会議内容 (要旨)			
子ども家庭部長	1 開会 令和 5 年 11 月に開催した第 1 回検討会後、作業部会において具体的な作業を進めてきた。本日は作業部会における進捗状況を報告し、皆さんに確認していただきたい。 2 議題 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">○ 関係課調査及び居場所実施者アンケートについて</div> (資料 1「関係課調査及び居場所実施者アンケート実施状況」、資料 1 別紙「関係課調査により抽出した居場所の概要」を説明)		
みどり公園課長	(質疑・意見等) 自由記述欄の意見には、室内で自由に遊べる場を求めているものがいくつか見受けられる。公園づくりの検討の中で、室内球戯場の充実を図ることも検討しているが、		

子ども家庭部長	<p>その検討の中で有償とするか無償とするかの議論がある。その議論を行う際に、こういった子どもの意見があることを検討材料としてもよいものか。</p> <p>居場所実施者の方は、どこか特定の施設をイメージしてこの回答をされているわけではないと考えられるが、今後実施していく子どもアンケート、子どもヒアリングの中では、更に子ども目線での意見が多く出てくる。学校以外の室内施設を求める声も出てくると想定される。そういった子どもの思い、居場所を運営している方の思い、といった居場所をめぐるニーズは、今後、各所管が計画等を組み立てていく際に活用していただければと考えている。</p> <p>居場所実施者アンケートの結果は、まとめ次第、皆さんにも共有するのでご確認いただきたい。</p>
子ども家庭部長	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">○ 子どもアンケート及び子どもヒアリングについて</div> <p>(資料2「子どもアンケート及び子どもヒアリングの取組状況」、資料2別紙1「子どもアンケート(乳幼児用)」、資料2別紙2「子どもアンケート(小学生用)」、資料2別紙3「子どもアンケート(中・高校生世代用)」を説明)</p> <p>(質疑・意見等)</p> <p>子どもアンケート及び子どもヒアリングは、基本方針の策定に向け、中核となる意見聴取である。このアンケートは、未就学の子どもに向けても行う。未就学の子どもが自らの言葉等で意見を伝えることは難しいが、保護者にその子の立場になって答えてもらうこととした。このアンケートは、パーセンテージで傾向を把握する性質のものではなく、子どもたちの様々な声を伺うことを目的としている。</p> <p>また、子どもヒアリングにおいては、各所管課にもご協力をいただき、現在、準備を進めているところである。ぜひ検討会のメンバーもどこかのヒアリングに参加し、子どもの声を聴いていただきたいと考えている。普段、多くの子どもたちと接している児童青少年課の児童館職員が、ファシリテーター研修も受講し、2名一組となって、各所でヒアリングを行う。</p>
区民課調整担当係長	<p>ファシリテーターは、日常業務も行いながら、2名で19か所のヒアリングを実施するのはかなり大変なのではないか。</p>
児童青少年課長	<p>10名のファシリテーターがおり、2名一組で行うので、一人当たり3か所程度と考えている。</p>
スポーツ振興課長	<p>学校でのヒアリングについて、小学5年生、中学2年生という学年設定にした理由はなにか。また、1クラスを対象に授業時間中に行うのか、などを教えていただきたい。</p>
児童青少年課長	<p>小学6年生や中学3年生は、卒業を間近に控えており時期的に難しいと考えた。小学5年生、中学2年生は、それぞれ学校生活での体験をベースに意見を出してもらえるのではないかと考え、その学年設定とした。</p> <p>小学校は1校時45分、中学校は1校時50分の授業時間をお借りして、出前授業のような形で実施する。この1校時の中で実施するにあたり、学年全体を対象とするのは難しいため、1クラスを対象に実施することとしている。進め方のデザインに</p>

	<p>については、現在、検討を進めているところで、実施する学校と事前に詳細に打ち合わせを行い、ヒアリングを行う。</p>
施設マネジメント担当課長	<p>子どもヒアリングにおいて、高校生の意見を聴く場合は、ゆう杉並以外にどこを想定しているのか。また、子どもヒアリングで子どもたちに聞く内容としてアンケートとの違いや狙いは何か。</p>
児童青少年課長	<p>高校での意見聴取も検討したが、高校は区外から通学している子どもも多い等の理由から見送った。子どもワークショップは高校生までを対象としており、ゆう杉並やワークショップにおいて、高校生からの意見を聴きたいと考えている。</p> <p>子どもアンケートでも子どもヒアリングでも、聴く内容の方向感としては、子どもたちが居場所に求める要素など、似通ったものとなると考えている。ただ、アンケートでの単一の回答だけでは引き出せない、その子の思いなどをヒアリングではより深掘りしていくことができると考えている。</p>
施設マネジメント担当課長	<p>子ども食堂も主たる対象は広い年齢の子どもとなっているので、高校生が来ているようであれば高校生の意見を多く聴くなど、工夫できればよいのではないかと。</p>
みどり公園課長	<p>子どもアンケートでは、ログイン ID の入力を求めているが、ログイン ID の入力を求めない方が回答のハードルが下がるのではないかと。</p>
事務局	<p>Web での回答と調査票の回答の重複があった際にそれを認知できるようにすることが目的である。また、この間、アンケートにおけるセキュリティのことを問われることもあるため、ログイン ID の入力を求めることとした。</p>
中央図書館長	<p>子どもヒアリングに参加する子どもは、事前に募集するのか、その場にいる子に声をかけるのか。</p>
児童青少年課長	<p>子どもヒアリングに参加する子どもの集め方は、ヒアリングを実施する場所によって、異なると考えており、施設職員と事前打ち合わせを丁寧に行い、デザインしていくこととしている。</p>
	<p>○ 居場所づくりの視点と基本方針の骨格について</p>
子ども家庭部長	<p>令和6年3月下旬以降、子どもの居場所づくりに関すること、子どもの権利に関することを子どもたちとともに考えるワークショップを実施する。そのワークショップの中で、子どもたちに居場所づくり基本方針の素案を提示し、基本方針に対して意見を聴かせてもらい、一緒に作りあげていきたいと考えている。</p> <p>次回の検討会では、基本方針の素案をお示しする予定となっている。本日の配布資料にあるように、国も「幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なビジョン」を「こどもの居場所づくりに関する指針」と同じタイミングで閣議決定しており、こども真ん中社会を実現するための、妊娠期から乳幼児期までの考え方も示されているところである。これらの国の動きも踏まえ、杉並区の子どもの居場所づくり基本方針では、小学生以上の子どもの居場所だけではなく、乳幼児の居場所についても言及していくことが必要だと考えている。</p> <p>本日は、事務局で検討している現時点の基本方針の骨格案をお示しする。今後、子</p>

	<p>どもアンケートや子どもヒアリングの結果を受けて具体化していくものであるとご理解いただきたい。その上で、今日の段階では大きな枠組みとして示した「たたき台」という観点でご確認いただきたい。</p> <p>(資料3「(仮称) 杉並区子どもの居場所づくり基本方針」骨格(案))を配付)</p>
	<p>○ 今後のスケジュールについて</p>
<p>児童青少年課長</p>	<p>今後、子どもワークショップの中で子どもに基本方針の素案を示していくこととしていたが、この間、学識経験者の助言も受け、ワークショップのデザインも再検討しているところである。現時点では、6月、7月のワークショップの中で子どもたちへ基本方針の素案を示していくことになろうかと考えているため、その前の段階で検討会を開催し、議論をさせていただきたいと考えている。</p>
<p>子ども家庭部長</p>	<p>子どもの意見とは別に、児童館再編が行われた地域の意見を聴く地域意見交換会を開催する。2月15日号の広報で周知を行い、3月下旬に実施することとしている。ここで出た意見も素案づくりの素材となっていく。</p> <p>3 その他</p>
<p>児童青少年課長</p>	<p>次回の検討会の開催については、あらためて通知する。</p>